

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和7年6月2日

事業者名: 美濃アルミ工業有限会社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み		関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	・LED照明等省エネ設備の積極的な導入 ・アルミニウム端材のリサイクル推進 ・有害化学物質の管理徹底と削減に向けた取り組みの推進 ・再生可能エネルギーの活用		⑦エネルギーをみんなに そしてクリーンに, ⑫つくる責任 つかう責任, ③すべての人に健康と福祉を	・環境面に配慮した廃棄物の適切な処理の実施。 ・分別の徹底によるアルミニウム端材のリサイクルを実行。	指標	・工場施設内の照明をLEDへの切り替えを進め、光熱費削減によりCo2の排出量減少に寄与。
					目標	・2030年度までにすべて施設内照明をLEDに交換。 ・労働生産性向上による工場稼働時間の短縮と合わせ、令和6年度比10%の光熱費削減を目指す。
社会	・地元人材の積極的な採用による雇用促進 ・地元白川町への寄付・寄贈の継続 ・地域イベントへの積極的な参画		⑧働きがいも経済成長も, ⑬気候変動に具体的な対策を, ⑪住み続けられるまちづくりを	・職場の大半を地元人材で雇用。夫婦で同じ職場で働ける環境も整え、地域での雇用創出に貢献。 ・自社製品の町内施設への寄付。	指標	・地元人材の雇用を優先的に雇用する方針を遵守。 ・白川町内施設等への寄付を継続。
					目標	・2030年まで社員の地元採用を100%にする。 ・町内の（医療・福祉・保育・教育）施設には重点的に必要とされる自社製品を今後も寄付。 毎年1か所には継続して実施。
経済	・CAD業務導入し業務の効率化を推進。 ・CAD業務のできる人材の育成に注力。1人体制から3人体制へ業務の効率化を進める。		⑧働きがいも経済成長も, ⑫つくる責任 つかう責任, ④質の高い教育をみんなに	・CAD業務の作業ができる人材を育成。人員が偏る事無く仕事量の平準化を進めた。	指標	・業務の効率化により労働生産性を向上。
					目標	・効率化による働き方改革を実践。2030年までに残業時間を令和6年度比10%以上削減する。
ガバナンス	チェック					
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 ＜具体的な内容を記載＞ ・各部署掲示版に掲示し、社員全体に共有している。 ・朝礼にて業務の改善策等を話し合い、改善に努める事で働きがいの向上に寄与。				
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 ・SDGsの達成に向けた取り組みを「SDGs宣言」にまとめ、事務所内・工場内・打合せ室等、対外的に目にする場所に掲示し公表している。 ・HPの作成も現在進めており、宣言を添付し公表予定。				